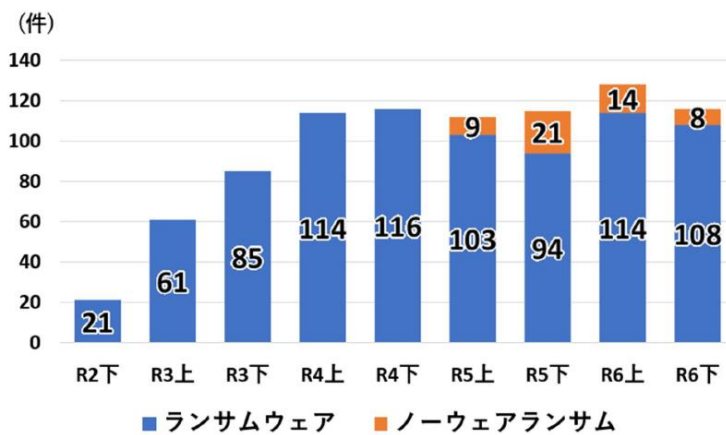


情報セキュリティ 2025 年度の活動内容

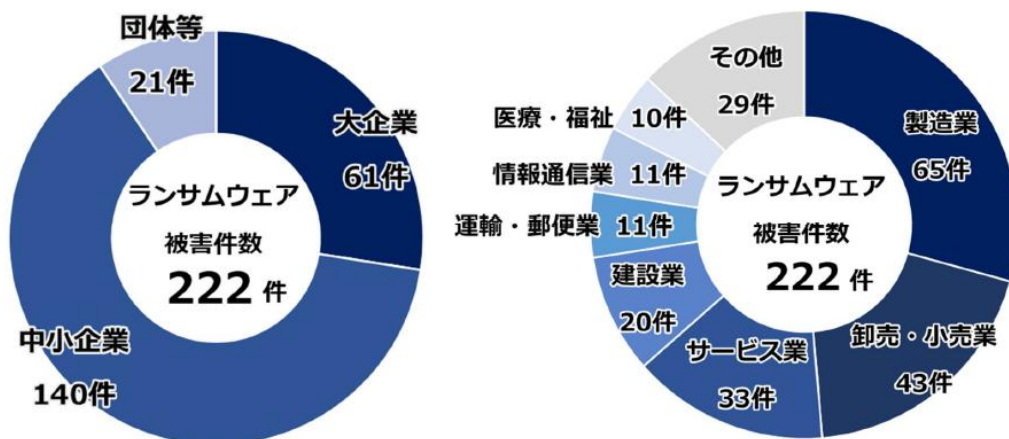
皆様もご存じの通り、サイバー攻撃によるシステム停止や情報漏えいなどのニュースが日々報じられています。警察庁サイバー警察局の「令和 6 年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、下記グラフのようにランサムウェアの被害件数が前年より増加し、またフィッシングの報告件数も前年比で約 52 万件（44%）増加しているそうです。（本文書のグラフは全て、警察庁サイバー警察局「令和 6 年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」より引用しました）



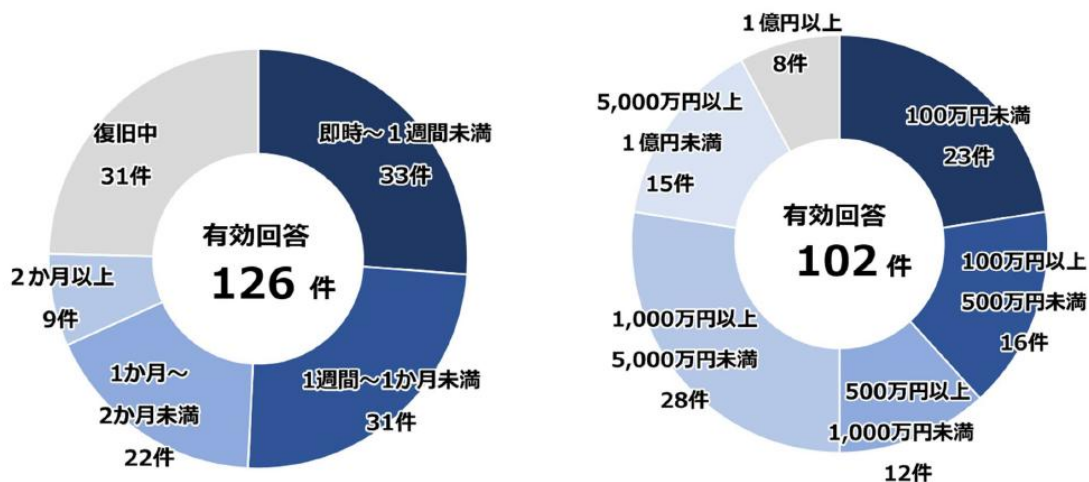
※ノーウェアランサムとは、データを暗号化せずに、機密情報を盗み出し、それを公開すると脅迫することで、身代金を要求するサイバー攻撃です。

※ノーウェアランサムの被害については、令和 5 年上半期から集計。

ランサムウェアの被害件数は、中小企業が 140 件と全体の 63%を占めており、業種別では製造業が 65 件とトップです。日本印刷産業連合会（以下日印産連）も、多いときで 5 分間に約 200 件、一日約 57,600 件のアタックを受けています。印刷業界も実際に被害を受けた会社が複数あり、ランサムウェア攻撃対象になっているのです。



ランサムウェアによる被害を受けた企業の復旧期間と調査費用を見ると、約 74%が復旧までに 1 週間以上かかっており、約 77%が調査等に 100 万円以上を要しています。



このような被害を避けるためには、技術的対策はもちろんですが、フィッシングメールやフィッシングサイトにひっかからないようにするなど、すべての従業員がセキュリティに対して正しく理解することが大切です。

そこで日印産連は 2025 年度の活動として、2024 年度に行った各団体へのヒアリング結果を参考に、以下のことを行っています。

- ① 基礎編（従業員向け）コンテンツ作成
- ② 経営者向けコンテンツ作成
- ③ 経営者・情報セキュリティ担当者向けセミナー（web 開催）
- ④ 従業員向け基礎セミナー（web 開催）

①②は、日印産連のホームページに、順次掲載していきますので、社内教育用資料としてご活用いただければ幸いです。

https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=76

以上